

# 県連ニュース

2020年 11月号 NO-520



『京都トレイル（東山）にて』

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 2020年 11月号 目次

リレーエッセイ	
里山の花	.....
お知らせ	
山友会からのお誘い	
(野坂山地・風力発電の尾根をたどる)	
雪山基礎講座・2021(1)	.....
報告	
第6回理事会	.....
清掃登山・交流山行	.....
・雪稜 ①コース (白滝山～打見山)	
②コース (小女郎峠～打見山)	
・ちごゆり山歩会 (岳山)	
・シャクナゲ (鎌倉山)	
・彷徨倶楽部 (リトル比良見張山)	
・山友会 (天狗岩)	
(伊吹山)	
ステップアップ登山講座・2020	.....
山登りを始める人の講習会	.....
ぐうたら会長のつぶやき	.....
行事予定表	.....

表紙の写真：『京都トレイル（東山）にて』  
撮影者 比良雪稜会 小原邦雄

# 里山の花

ちごゆり山歩会 高山智恵子

今年の春はコロナという目に見えないウイルスに脅かされ、外出もままならず巣ごもり状態になりました。ちごゆり山歩会も例会が次々とキャンセルになり、山の美しい季節に登れなくて、ストレスが溜まっていきました。

セツブンソウが見頃との新聞記事が目にとまりました。「伊吹山の西側、三島池から北へ奥伊吹スキー場方面の大久保という集落に自生地がある」という。家から遠いがしばらくこもっていたので、おもいきってドライブすることにしました。



駐車場にはすでに何台もの車。「セツブンソウの里」として知られているらしい。坂道を登って長尾護国寺の裏山の土手に出るとセツブンソウが淡い絨毯のように広がって咲いていました。思っていたイメージとはちょっと違う。残雪の山道の傍に、寒さに耐え春を待つかれんな白い花と思っていたのに、暖冬で雪が少なく陽がよく当たる暖かい土手には早くから咲き始めたらしい。少しぐったりした花もありました。



地元の人にもう1カ所教えてもらって、30分位山里を歩きました。雑木林のやわらかな木洩れ日の中にあたり一面に咲いていた。ここの方がセツブンソウには良く合っているのか、咲き始めたばかりでリンとしている。中心は紫と黄色、透き通るような白い花びらは顎。花は冬の寒さを乗り越え強くて清楚で美しい。心が癒されました。遠くまで来たかがありました。近くにはスハマソウや福寿草も見つけました。

めずらしい花にも出会いました。土山の滝樹神社に咲くユキワリイチゲを見に行きました。境内の林の中、御神木の杉の大木の足元にうす紫の3cm位の花が群生している。美しい気品のある花で、やさしい風に揺れている。数が少なくなっているそうでこの一帯は保護地区となっています。

里が桜でピンクに染まる頃、里山は淡い新緑の中透明感のあるピンクのミツバツツジに始まりモチツツジや、高い木には藤の花が滝のように垂れ下がり彩りを添えています。

日野の鎌掛では本シャクナゲが山をピンクに染めているのが見られました。どの花も今年は色が一段と鮮やかに見えます。コロナ禍で自粛していても季節は春から夏、秋へどんどん移って山は色を変えていきます。

コロナが下火になって自由に山に登り、山の空気と山でしか会えない花を仲間と一緒に見に行くのが一番の楽しみです。



**\*\* 滋賀山友会からのお願い \*\***

## **野坂山地・庄部谷山～芦谷山のブナ林・風力発電の尾根をたどる**

すでにご存じの方もおられると思いますが、野坂山地の庄部谷山から芦谷山へと続く尾根に、大規模な風力発電が計画されています。地元的美浜町も事業の誘致に前向きで、5月に議会で事業者から説明を受け、誘致計画を進めることを決めました。

原発や火力発電への批判が高まる中、クリーンエネルギーとして風力発電・ソーラーパネルによる発電が各地で進められていますが、気がかりなのは、これらのエネルギーを得るための設備設置には大規模な自然破壊を伴うことです。庄部谷山、芦谷山周辺の尾根には素晴らしいブナ林があります。伐採されてしまえば取り戻すことはできません。

一人でも多くの人に関心を持ってもらい、計画の見直しにつながればと思い、山行の案内掲載を県連にお願いしました。是非一緒に歩いてみてください。

- 実施予定日 11月8日(日) 予備日11月10日(火)
- 集合場所・時間 7:00 道の駅 熊川宿 (乗り合わせて現地へ移動)
- コース予定 ・新庄松屋→折戸谷右岸より尾根を北へ登る。～840Mのピークへ。
- 問い合わせ・参加申し込み:10月31日までに、下記まで。

倉内:携帯:080-1425-8167 [k-kurauchi@za.ztv.ne.jp](mailto:k-kurauchi@za.ztv.ne.jp)



# 雪山を楽しもう！

--- 雪山基礎講座 2021 ---

この講座は、**経験はないけれど雪山に登ってみたい**、あるいは**少し経験はあるが、もっといろいろな雪山に登ってみたい**、そんなひとを対象にしています。

雪山は美しい。雪山に身を置く素晴らしさは言葉では言い尽くせません。でも、雪山には危険がいっぱい。実戦的な技術と知識を学び雪山を安全に楽しみましょう。この講座が受講生に求めるものは「雪山への真摯な憧れ」です。素晴らしい白銀の世界へ踏み出しましょう。「わくわくする山」目指して、いざ。

■日 程：2020年12月～2021年5月

- 山行を通じて、雪山登山に必要な知識と基礎的な技術を実践的に学びます。連続して受講して頂くのが理想的ですが、毎回独立した内容なので都合の良い日程の講座のみの受講も歓迎します。
- 12月初旬にON LINEでオリエンテーションを行います。  
オリエンテーションでは講座の概要説明と日程調整および装備の確認を行います。

■講習会場：受講生の希望も踏まえて山域を選びます。

過去4年の講習では、八ヶ岳、中央アルプス木曾駒ヶ岳、北アルプス唐松岳、爺ヶ岳、南アルプス塩見岳、伯耆大山などが会場でした。

■講 師：秋田誠（彷徨倶楽部、日体協登山上級指導員）、クライミング研究会々員および外部講師

■講習内容：

1. 雪上歩行（キックステップ、アイゼン、ワカン、スノーシュー）
2. ピッケルワーク（ピオレトラクション、耐風姿勢、滑落停止）
3. 雪上ロープワーク（固定ロープ通過、スタンディング・アックスピレー、懸垂下降）

■募集人数：8名程度

■受講料：各回2,000円、申込金不要。山行時の交通費、食費などが別途必要です。

■申込み（問合せ）と申込み期限：

090-3727-3721（秋田）またはメール [dekameno@gmail.com](mailto:dekameno@gmail.com)

ショートメールでも結構です。

期限 11月30日（月）



雪洞訓練、奥美濃・大日ヶ岳



北アルプス・爺ヶ岳東尾根

# 2020年度第6回理事会 議事録

10月7日 水曜 19:00~20:30 明日都浜大津1F会議室

出席 友永、池田、古川、今村、田中、藤関、宮内 (理事会定数11名)  
欠席 中島、高玉、山元、渡壁、平山

## 議題

### 1. 9月交流月間の報告・感想等について 担当・教育遭対部

山友会 9/12 土 比良・中井新道～ヤケオ山 12名 雪稜6 山友6  
雪稜会 9/27 日 比良 ①白滝山～打見山(清掃登山) 18名 山友2 雪稜11 会員外5  
②小女郎峠～打見山(清掃登山) 19名 山友2 雪稜15 会員外2  
彷徨 9/27 日 リトル比良・見張山 3名  
ちごゆり 9/27 日 リトル比良・岳山(清掃登山) 7名  
シャクナゲ 9/27 日 坊村～鎌倉山～町居 3名 山友2・シャク1  
岳友会 中止

### 2. 秋の「清掃登山」について

1. 米原市・伊吹山 (10/4 山友会) 会員15名 会員外1名 計16名
2. 多賀町・高室山 (中止/ 岳友会)
3. 近江湖南アルプス・天狗岩 (10/4 山友会) 会員15名 会員外2名 計17名
4. 竜王町・雪野山 (11/8 彷徨)
5. 比良・2コース (9/27 雪稜会)
6. リトル比良・岳山 (9/27 ちごゆり) 7名
7. シャクナゲ 特に計画しない

滋賀県環境事業公社、近江湖南アルプス自然休養林管理運営協議会 (15000円入金済)  
江若交通 (堅田～坊村バス代 半額免除・ロープウェイ 片道無料)  
帝産湖南交通 協力確認済

### 3. 延期していた「山登りを始める人の講習会」開催

10/11 日 前回予定の滋賀県スポーツ会館 参加者27名 現在  
受付 9時30分～ 開始 10時～12時  
配布物＝勧誘ちらし・登山祭典案内

講師・雪稜・秋本氏、岳友・北村氏、山友・金原氏 県連会長・友永氏  
スタッフ理事 9時集合 古川・渡壁・田中・藤関・今村・宮内

### 4. 登山祭典

山友会 「音羽山」  
雪稜会 「マキノ・寒風～大谷山」  
彷徨 「東近江市・太郎坊山～箕作山」  
ちごゆり 「比良・烏谷山」  
シャクナゲ 「朽木・正座峰」

他会への参加は、自由

5. 代表者会議について 11月4日 明日都浜大津中会議室  
 短時間の会議進行のため、議題について意見を求め、集約したものを事前に配布資料とする。理事も同様に意見を求め資料に入れる。

議題 1. 救助隊の存続について

2. 県連主催の年間行事について 今年度 交流山行・登山祭典

3. 会員拡大の取り組みについて

4. 県連事務所について

明日都浜大津の大津市民活動センター「スモールオフィス」申請、トランクルーム等検討

5. 理事会の回数減らす方向を検討 メール・ZOOM会議を活用する

6. その他

#### 6. 各部報告

組織 会員数動向 (前年年度末 /207) 9月末の会員数の報告

山友会	岳友会	雪稜会	彷徨	ちごゆり	ジャクガ	2020.9/20208
65/65	39 /41	43/43	9/9	17 /17	5/5	178 /180
(31+34)	(21+18)	(25+18)	(6+3)	(7+10)	(3+2)	

・自然保護部

・教育・遭対部

・機関紙部：11月号 (10/15 締め切り)

表紙写真 (比良雪) エッセイ (ちごゆり )

9月交流月間実施報告・清掃登山 (山友会)

・財政部

・C S S 10/10～11 ステップアップ 登山講座 頸城・荒菅沢～雨飾山 悪天中止

・SKI・NET

#### 4. その他 覚え書き

・来年度の総会日程 2021.3.7 スポーツカ会館 予約済み

・安全対策基金の申請 入金確認済 秋田さんに7万送金、3.万講習会等にプール

・全国基金担当者会議 (全国連盟事務所 11/15) 県連として彷徨・谷内さん出席

・労山創立60周年記念行事(東京 11/14 (土) 友永会長出席

・近プロ代表者会 10/21 大阪府連事務所 19時30分～

・勧誘ちらし 追加配布先 ・県立図書館・大津市立図書館・日野図書館

・木戸・和邇・小野各支所 ふくた診療所 (蓬莱)

配布できるところがあれば、ご連絡ください。郵送します。

10/11 付けの滋賀民報で紹介掲載あり。

次回 第7回理事会・代表者会議 11/4 水 19:00～20:30 明日都浜大津 会議室

# 県連交流兼清掃登山山行報告

比良雪稜会

## 比良山系①コース 白滝山～打見山

日程：2020年9月27日（日） 天気：くもり一時小雨  
参加者：1班 会員5名 他会1名 一般3名 計9名  
2班 会員6名 他会1名 一般2名 計9名  
合計 会員11名 他会2名 一般5名 総計18名

行程：堅田駅集合 8:30=8:50 江若交通バス=坊村 9:40～伊藤新道～ワサビ大滝～白滝山山頂 12:50（お昼）13:20～オトワ池～夫婦滝分岐～打見山山頂駅 15:40＝（ロープウェイ）＝山麓駅 16:00（ゴミ分別・計量・報告後解散）

毎年6月に実施している清掃登山もコロナの影響で延期になっていましたが、交流山行も兼ねて開催することが出来ました。例年と同様に江若交通さんとびわ湖バレイさんの協力も得られた。

今年の①コースは坊村から白滝山を越えて打見山を目指します。天気予報ではにわか雨ありと、最後まで持ってくれたらとの期待も、出発前の準備運動時からパラパラと、とりつき前の林道途中で雨が本格的になり始めたので、雨具をつけました。白滝山までは急登が続きます。途中で雨も止み、心配していたわさび大滝前も無事に通過。

ちらほらと「まだかなあ」という声上がりはじめた時分に山頂に到着しました。昼食後、一気に下ってオトワ池着。池の周りはロケーションも良く、休憩する人も多いのでしょう、少しゴミが多かったように思えました。

夫婦滝の分岐からは沢沿いの道で濡れた岩のトラバースも多く、要注意。溯も数年前の豪雨の時に流れてきたのでしょうか、大きな流木が横たわり、枝やゴミがせき止められていて景観が残念になっていました。スキー場手前の最後の橋が壊れていましたが、水は浅く、みな無事渡渉し、汁谷から山頂駅へ、②コースより1時間ほど遅れて到着しました。

山頂で合同での記念撮影をし、皆一緒にロープウェイで下山。山麓駅前で分別、計量し、今年の清掃登山を無事終了しました。（記録 GM）

### <回収ゴミ量>

	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ペットボトル	ビン	缶	合計
単位kg	17.0	4.5	0.5	2.0	1.0	25.0

（CLより）

・このコースは沢沿いが多く、全体的に荒れが目立った。2年前・3年前の台風の影響かと思われる。特に夫婦滝分岐～汁谷間は荒れがひどく、渡渉を含め難所が数カ所あって予想以上に時間を要した。今後、このコースは清掃登山から除外したい。

・9/27は当会を含め4会の交流山行が集中したので他会から参加者が無いかも…と思っていたが、山友会より2名(②コースも合わせると4名)参加があり、いろいろ話が出来、参考になることも多く有意義だった。

NT





## 県連交流兼清掃登山山行報告

2020年9月27日(日)

比良雪稜会 ②コース 小女郎峠～蓬萊山～打見山

### 参加者

一班 会員8名、他会1名、一般1名 計10名

二班 会員7名、他会1名、一般1名 計9名

合計 会員15名 他会2名 一般2名 総計19名

9時 蓬萊駅集合 リーダー・県連理事 挨拶  
 9時10分 出発  
 9時50分 福谷の郷 5分間休憩  
 10時25分 登山口休憩 大津市の要綱に準じゴミの仕分け  
 翌日大津市が回収に来られる。

林道分	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ペット ボトル	瓶	缶	合計
単位kg	11.6	6.8	1.0	6.0	3.7	29.1

11時5分 薬師滝付近 5分間休憩  
 12時50分 小女郎峠通過  
 13時10分 小女郎ヶ池到着 30分昼食 記念撮影  
 14時10分 蓬萊山 テラスにて小休止  
 14時35分 打見山到着 ①班の到着を待つ  
 15時40分 ①班到着 記念撮影  
 16時 ロープウェイ乗車  
 16時20分 ロープウェイ山麓駅駐車場前にてゴミの選別計量、解散

登山道分	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ペット ボトル	瓶	缶	合計
単位kg	10.5	0.9	0.03	0.05	0.03	11.51
総計	22.1	7.7	1.03	6.05	3.73	40.61

記録係 KY

(感想)雨がぱらつくような天気で涼しかった。相変わらず林道にはゴミが多かった。時節柄マスクが目立った。(KH)

交流山行をかねての清掃登山であるが他会からの参加はなく、会員7名のみの今までにない清掃登山となった。

高島駅に集合し、今回はゴミを持ち帰る都合上、車で登山口の大炊神社へ。ストレッチを行い登山届を提出して9：20出発。動物除けの扉をあけ林道を進むと昔の石標と大きな獅子を思わせる岩が現れ、道は細くなって開けた賽の河原に到着（9：45～9：50）。雨が降り出してきて雨具をつける。登山道は、シダが生い茂り多数の水たまりや段差が隠れていて歩きにくい。大きな灯籠のある見晴らしのよい庭園へ出て小休止（10：15～10：28）。相変わらずシダの生い茂る道が続き、右手には明るい白坂が見え、石段の道に変わるとまもなくして岳観音堂跡に着いた（10：55～11：00）。そこから水が流れている小さな沢を渡り左手の尾根へと回り込み、ちょっとした岩場を越え登っていくと左手が開けた所に出た。そこから道は少し緩やかになり「岳山」に到着（11：40）。

石の祠のなかの石仏に手を合わせ、まわりを見渡すとササユリが何本か生えていた。集合写真を撮り15分ほど下山。青空が広がり、谷を隔てて見張山へと続く稜線を見ながら昼食（12：05～12：40）。水たまりに気をつけながら、見つけておいたゴミを拾い往路をゆっくりと下山。石灯籠の庭園で真正面に真近かに見える伊吹や霊仙をながめのんびり休憩（13：20～13：35）。賽の河原で道なりに林道を下りはじめ、あわてて引き返し細い登山道に戻り14：30下山。

2000年前後、何年か続けてオーム岩までにぎやかに清掃登山をしていたところに比べ、今回ゴミは格段に少なく参加人数も少なかったが、いつもと違う比良の景色を眺め、晴れてきた空のように終わってみればさわやかな後味のいい清掃登山となった。コロナ禍の中でも清掃登山が実施できたことは、とても意義深く思えた。

柴田 記



岳山下山途中



大炊神社岳山登山口

## 交流山行報告 シャクナゲ遡行クラブ「鎌倉山」

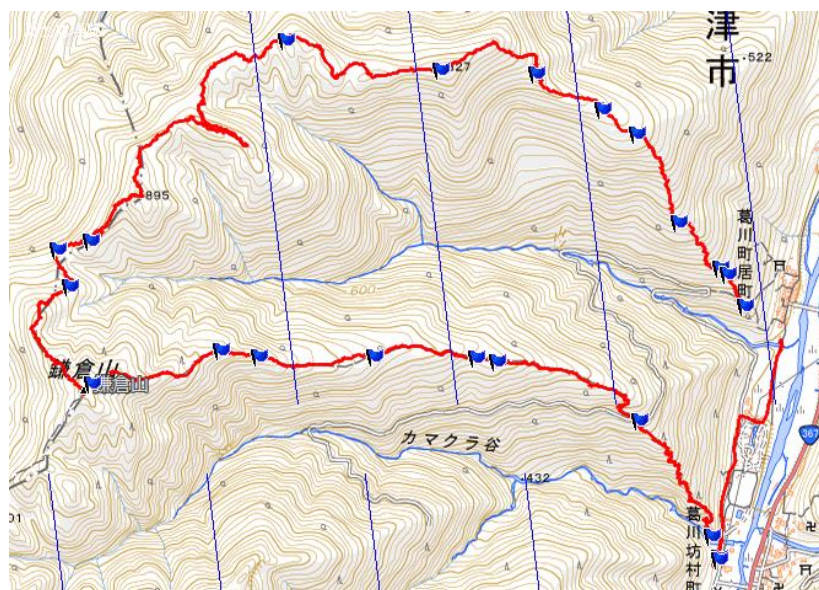
実施日 2020年9月27日（日）曇り、時々雨

参加者 CL 太田(シャクナゲ) 山友会 高村・宮内(記録)

コース 8:40 葛川市民センター坊村駐車場～ブナ平～10:35 鎌倉山～11:30p895～13:00p827～  
14:40 町居集落下山～15:00 駐車場

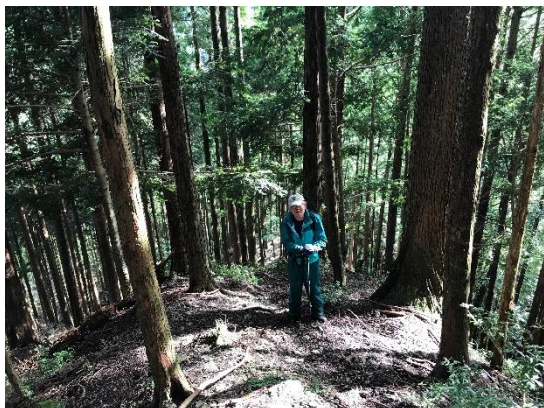
報告 各会との交流を図る目的で今年度初の試みである。個人的に、鎌倉山～町居のルートに興味があり参加した。マニアックなルートを好んで歩かれる太田さんと歩いてみたいと思った。

自然林と植林の杉林を両サイドに見ながら鎌倉山山頂に到着。曇り空であっても自然林は、開放感を感じることができる。鎌倉山から北へルートファイティングが始まる。p895を過ぎてからは、踏み跡らしきもの、ガスで山並みが隠れ、歩き難くなり、GPSを頼りに、尾根を外さず一番高いところを歩くようにすると自然と尾根筋が見通せた。町居の集落に



下りる斜面が一番緊張した。足元は滑りやすい枯れ葉、エッジがきかず、滑るように降りるしかなかった。それがコツなのかもと思った。無事着地できホッとした。

道なき道を歩く楽しい山行であった。



### 緊急事態発生

「熊を目撃・遭遇」

鎌倉山～p895の登りで、高村さん曰く「木の上から黒い座布団が落ちてきたと思った」

太田さんは「こんなに間近で熊を見るのは初めてや」  
宮内は、登りのペースがあがらず、遅れていたため声に驚き何かあったのかと思っただけでした。

# 交流山行 リトル比良 見張山報告



(日吉神社) 駐車場・トイレ有り

日時：2020年9月27日(日)

参加者：谷内(L 彷徨 記録) 信森(彷徨) 池田(山友)

行程：近江高島駅 8時＝日吉神社 8:10…打下城跡

9時～9:10…見張山(音羽山) 10:10～10:15…長法寺

遺跡 11時～12時…日吉神社 13:30(帰途)

晴天の予報が午前中はときおり小雨が降る不安定な天気。平安時代の長法寺創建時に坂本から勧請されたとの由緒がある日吉神社に駐車。日吉神社は大溝祭の神社でもあります。

神社横の登山口を出発。山麓沿いに石垣(古代山城三尾城の石垣か?!)が残っています。(ちなみに石垣と土塁は白髭神社の裏山や鶴川48躰石仏の山中に続いている)砂防ダムを過ぎ、急な登山道を



(打下城跡 南郭と北郭が土塁で連結) (見張山 山頂)



歩く途中で左に折れて打下(うちおろし)城跡に到着。

大溝古城と言われ、土塁や石垣、堀切など残存し、戦国時代に築かれた山城で浅井・朝倉との戦いで織田信長も対陣したとされています。

中央部の本丸跡や南北の郭に平坦地があり周囲は急な斜面に囲まれて難攻不落を思わせます。樹木を伐採すれば琵琶湖が眼下に見え、城主は湖上交通を取り仕切っていたと考えられます。

尾根沿いに歩き、馬の足形という岩を通過して見張山へ。定説ではありませんが日本書紀に記された三尾城(みつおのき)に比定されています。三尾城は日本書紀に記された朝鮮式古代山城の一つで唯一場所が未確定です。天智天皇の大津宮(京)造営の際に白村江の戦の敗戦を契機に北の守りとして亡命百済人の指導で築城されました。鶴川から高島市音羽まで山沿いに延々と積み石が続き、見張山山頂付近と尾根筋には土塁や石垣、堀切、数



( 長 法 寺 遺 跡 )



(万葉歌碑)

この地域は豪華な副葬品の出土で有名な鴨稻荷山古墳から、壬申の乱の戦場となった三尾城や奈良時代末の争乱で藤原の仲麻呂が敗死した勝野の津、乙女ヶ池と信長の甥の大溝城、江戸時代の探検家の近藤重蔵の墓など見所はたくさんあります。日帰りハイキングと併せて立ち寄ってはいかがでしょうか？

か所の人工的な平坦部が残り、古代山城＝三尾城の可能性が高いと実感できます。

山頂からろくわ石まで尾根沿いに土塁とおぼしき尾根を歩き、登山道に戻って高圧鉄塔のある三叉路から長法寺跡へ向かいます。琵琶湖と対岸の沖島や長命寺山を眼下に見渡して下ります。鶴川への分岐点から長法寺遺跡が広がります。戦後、高島高校の生徒によって発見された長法寺跡は広大な古代仏教寺院跡です。室町時代を最後に文献からも消えてい



(長法寺遺跡への分岐)

ますが僧房跡やいくつもの寺坊跡に礎石が散在し、参道、庭園跡、立派な石垣が残っています。戦国時代には一部が長法寺城としても使われていたようです。打下城や三尾城との関連はよく

判っていません

んが平安時代から室町時代まで栄えていた比良山系の大規模寺院です。残念なことに遺跡としての維持管理はされず荒れるがままとなっています。

長法寺跡から先はほとんど人が通っておらず荒れています。万葉歌碑まで地図上のルートを下りましたが急な尾根はほとんど廃道で足元は滑りやすく危険です。このルートは下りは右へ迂回するか登りに使うほうが良さそうです。

## 山友会 清掃登山 近江湖南アルプス「天狗岩」

日時: 2020.10.4(日) 曇り

参加者: 山友会 14名(沼、豊田、川口、宮内、小間、岡本夫妻、明隅、中野達、後藤泰、高村、小林、前田、塩井)

雪稜会 1名、一般 2名

コースタイム: 8:45 一丈野駐車場→9:21 落ヶ滝→11:04 天狗岩→13:00 竜王山→13:30 金勝寺→14:00 手原駅

回収ゴミ: 可燃 5.5 kg、不燃 2.0 kg、ビン 1.3 kg、缶 1.9 kg、ペット 0.3 kg 合計 11 kg

7:50 草津駅東口のバス停で受付。一般の参加者が少ないのが残念。8:00 のバスで上桐生へ。駐車場で会長挨拶、コース確認を済ませ、早速ゴミ拾いが始まる。落ヶ滝の手前にピンクの紙が…。拾おうとよく見ると付箋紙に花の名前が書いてある。これもその内ゴミになるのに…取りあえずそのままに。給水を取りながら天狗岩へ。この辺りは何時にもゴミが多い。天狗岩に登り崖下を覗くとゴミの山が見えた。風に飛ばされたのかな。若い川口さんが天狗岩の下を廻ってあのゴミを拾ってきた。凄い量!! ベンチの回りにもゴミが埋もれている。錆びた缶にビニール。埋めたのかなあ。掘り出してゴミ袋に。

馬頭観音堂の駐車場辺りもゴミが多いが10月は草ぼうぼうで拾えない。無いことを願って金勝寺に下りる。ここでゴミの分別。うわべは綺麗に見えても缶やビニールは埋めると自然には戻らない。山を楽しむにはゴミの無い綺麗な山歩きをしたい。マナーを守って「ゴミは持って帰って!!」と声を大に言いたい。(塩井記)



## 山友会 伊吹山清掃登山

【山行日】2020年10月4日(日) 曇り時々雨

【山城山名】伊吹山

【山行目的】清掃登山

【参加者】(CL)北川 (SL)山森 新井 坪田 阿部 椋田 宇都宮 堀井 田中政 池野  
吉村(記録) 雪稜会1名

登山体験山行メンバー：金原 中西 田中博 体験者1名 計16人

【コースタイム】

8:15三宮神社集合・8:37出発⇒1合目(水分休憩5分)⇒5合目清掃(休憩15分)⇒  
11:21避難小屋⇒12:30山頂(昼休憩40分)⇒14:06下山⇒16:30写真撮影解  
散

【報告】

伊吹山の山頂はどんよりした雲に隠れ、5合目のゴミ回収後は雨の様子に応じて下山有りということ  
とで出発した。3合目では一面すすきの原で、深まる秋を感じているとウィーンと草刈り機の音、数  
人の方が斜面に踏ん張りながらすすきを刈っていた。伊吹山の草花図鑑も出版されている高橋滝治郎  
(会員)さん達である。地域の方が山を守ってくださっていることに、感謝しながら先に進んだ。

例年通り5合目では、古くから積もるゴミの山から掘り出せるゴミを集めた。「5合目では何年も  
ゴミの回収を繰り返しているが、減っている感じがしない・・・」との声も聞かれた。何十年積もって  
できたごみ山を無くすのも人力しかないのか。小雨がぱらつくもここでの回収物はデポして、ゴミを  
拾いながら山頂を目指した。タオルやマスクなど新しいゴミに交じって、浸食された土から古い電池  
やビンのかげらなども出てきている。豪雨で深く侵食され、道の端が危なくなっている所や岩石のガ  
レ場が多く大変歩きづらくなっている。また糞尿の獣臭がキツイ！周辺の樹林帯からは、鹿の警戒す  
る鳴き声がさかんに響き、こちらをうかがっている姿が見られた。高橋さんの話では、獣が昼間にも  
出てくるようになったとのこと、コロナ禍でしばらく登山者が減っていたせいであろうか。登山道の  
安全と高山植物の保護など伊吹山の様子が年々変化していると感じた。

山頂でも清掃を行う予定だったが、気温も低く雨とガスで見通し  
も悪いので、昼食後早々に下山開始し1合目の休憩所付近で仕分け  
を行い計量した。不燃物ゴミ3キロ 燃えるゴミ11キロ 缶類  
7.5キロ ビン類11.5キロと例年なみの回収量だった。

皆さん歩きにくい岩道の中、最後までよく頑張ることができました  
。私自身伊吹山の清掃登山は2回目で、前回よりは余裕をもって  
ゴミを探すことができ、道中清掃登山だと気づいた方から、「ご苦  
労様です。」「ありがとうございます。」と声をかけられ、心地良  
さと充実感を味わえた。今年はコロナ禍でいろいろな行事を中止決  
定する中でも、40年以上続いている清掃登山を絶やすことなく実施  
できたことは、大好きな山を守ろうとする山友会ならではの成  
せしめである。役員の方々には米原市との連絡調整やゴミ袋や道具  
などお世話いただきありがとうございました。



5合目で集めたごみ



# ステップアップ登山講座 2020 (1)

— 北アルプス・池ノ平山 —

日程：2020年9月19日(土)～22日(火)

講師：秋田(彷徨倶楽部)

受講生：玉田、其阿弥、齋藤(比良雪稜会)、田中(滋賀山友会)、家邊、吉井(湖南岳友会)

行程：9/19(晴)夕方、滋賀発。道の駅「ほりがねの里」で山梨から参加の秋田講師と合流後、仮眠。

9/20(晴)新型コロナウイルスの感染予防対策で、乗車定員を大幅に減らしてバスが運行されており、扇沢で3時間余りの時間待ち。10時30分発のバスでようやく黒部ダムへ。11時過ぎダム下から日電歩道に入る。今日中の真砂沢着は見込めず、内蔵助平での幕営に予定変更。15時30分内蔵助平着。真砂岳への分岐付近で幕営。

9/21(晴のち曇り)内蔵助平にテントなど宿泊装備をデポ、ハシゴ谷乗越、劔沢二股を経て仙人池ヒュッテ 11時30分着。12時池ノ平山へ出発、14時30分山頂、17時仙人池ヒュッテ帰着、同ヒュッテ泊。

9/22(晴)往路を下山、内蔵助平にて装備を回収し14時20分ダム駅に帰着。バスにて扇沢へ戻り帰路へ。

ステップアップ登山講座2020(計4回企画)は、北アルプス・池ノ平山からのスタート。今回は、コロナ禍中でのテント泊や共同食の留意点を踏まえての講習となった。実技的には、急なザレ・ゴーロ・ハシゴ・沢沿いの岩場のへつりなど、変化に富んだ登山道の安全な通過を体験した。岩場のへつりでは、竹を組んだ細い栈道をトラバースしたが、被り気味の岩に対応して鎖の張りが緩められていたので、身体のバランスを保つのが難しく足を滑らせないように緊張して通過した。歩きにくい道、厳しいアップダウンの連続で当初予定の真砂沢までテント装備を担いでいたなら、池ノ平山には登頂できなかったかもしれない。内蔵助平に宿泊装備をデポできたのが幸いした。



黒部三大岩壁で黒部の巨人・黒部の魔人と呼ばれる丸山東壁・南東壁を見上げつつ内蔵助谷を通過し、ハシゴ谷乗越に立つとようやく劔岳や劔沢雪渓が見える。そして、仙人新道のベンチまで登ると八ツ峰の尖った岩峰群がくっきりと姿を現した。劔岳の北方稜線から切れ落ちる三ノ窓雪渓や小窓雪渓には、この時期クレバスがあちこちに出現し登攀者は見当たらない。

仙人池の紅葉はまだ始まりかけたばかり。小屋閉めが10月10日頃。短い間に秋は一気に深まり、長い冬に向かう。到着した時には劔岳は雲に覆われ、残念ながら池に映る裏劔は見られなかった。

休憩後、池ノ平山を目指して出発する。仙人池ヒュッテの標高は約2,100m、池ノ平山南峰が2,555m。標高差455m。疲れた身体を励まし登り始めるが、樹林帯からザレた登りに入ると落石にも注意を払わなくてはならず、徐々に気力と体力を奪われる。行けども行けども頂上は見えない。ガレの登山道での唯一の楽しみ……。池ノ平山の頂へ続く斜面は野生のブルーベリーの宝庫だった。実は小さい甘味は少ないが、疲れきった体にはその酸味がなんとも嬉しい。帰着後、仙人池ヒュッテで入浴。こんなにも山深くまで





来て汗を流せる事への感謝と嬉しさで一杯になる。

最終日は、バスに乗り遅れないように急ぎ足で下山。疲労も重なり、足取りは重い。もう限界か、と思う少し前でのタイミングの良い休憩に助けられつつも最後のダムへの登山はやはりきつい。  
(文責：吉井)

☆☆ 一口感想 ☆☆

以前から行きたかった裏剣。仙人峠への登山の途中、ガスの上にチンネだけ、白く輝く岩肌が一瞬見えたのには感動しました。10才若ければ登山したかったなあ？また、池ノ平山への登山のお花畑（花は終わってましたが）は穴場かな？花の時期にまた行きたい。新調したザックで、ウエストベルトをしっかり絞めると肩にかかる荷物がかなり軽減できることも、恥ずかしながら初めて体験しました。3日間とも雨が降らず強風もなく、充実した登山でした。秋田さんはじめ皆さんありがとうございました。5月に山スキーで池ノ平山へ登山したい。どなたか一緒に行きませんか？  
＜田中政行＞

長い道のりでしたが、沢からの風、三ノ窓雪渓や八ツ峰の展望、池ノ平山では肌に心地よいミストとブルーベリーの野生的な風味を楽しむことができました。テントを張る場所を探すのに右往左往しましたが、美味しい夕食とともに和やかな時間を過ごすことができました。＜玉田 美帆＞

黒部ダムの威容に圧倒されながらスタートを切り、お天気もまずまずだったのですが、登山でテント入りザックの重量にばてて皆様に迷惑をかけてしまいました。帰路はまた、男性お二人に（今回初めてお会いしたにも関わらず）、目いっぱい助けて頂き、本当に本当に有難うございました。そんなヘタレな私でしたが、登山道から見た八ツ峰や三ノ窓雪渓、小窓雪渓に裏剣にいることを噛みしめ、仙人が池ヒュッテでは、檜風呂を堪能し、夕食もとても美味しくいただきました。感謝の一言です。  
＜齊藤宗子＞

初めての連泊、行動時間の長さ、高山病にならないか不安で仕方ありませんでした。不安の中でのスタートでしたが、山を歩き、景色に癒され、また皆さんのお陰でなんとか乗り切ることが出来ました。美味しい山ご飯、山行中のブルーベリーなど、初めての貴重な体験をさせて頂き、ただただ感謝です。  
＜家邊真由美＞

相変わらず、荷物を減らせず、十分にトレーニング出来ていない状態で迎えたステップアップ講座。一度は行ってみたい裏剣の誘惑に負けて参加してしまいました。小窓や三ノ窓雪渓を眺めながらの登山はしんどかったですが贅沢な時間でした。仙人池の前で余りにも思っていた風景ではなく立ち尽くし、しっかり見なかった！と下山して気が付きとても悔やまれました。沢沿いの歩き、ゴロゴロ石の道等いろいろな足元が出てきて自分の苦手を痛感しました。どんな道も安定して歩けるようにしたいと思いました。＜其阿弥道子＞

3年前に山の雑誌で見た仙人池の紅葉と裏剣の景観が素晴らしく、いつかは自分の目で見たいと思っていた場所でした。紅葉のタイミングには合いませんでしたが、裏剣の厳しくも美しい雄大な自然の中にいるちっぽけな自分を感じる山旅になりました。下山では膝の痛みに襲われ、もっと筋力をつけなければと痛感しました。お世話になりありがとうございました。＜吉井孝子＞

重荷で陰しい内蔵助谷の登降、本当にお疲れさまでした。残念ながら池に映る裏剣は望むことが出来ませんでした。ステップアップした山を十分味わって頂いたことと思います。みなさんそれぞれが経験なされたことは、今後の山行の糧になることは間違いありません。これからは新型コロナウイルスに負けないでわくわくする山を登山しましょう。＜秋田誠＞

## (県連主催) 10/11「山登りを始めたい人の講習会」 報告

当初3月8日に予定していた講習会でした。

全国連盟の安全対策基金を活用して、安全に登山をしてもらうために何かできないかと考え、思いついたのが、山登りを始めたい人向けの講習会でした。会員拡大につながるのではという思いもありました。理事の負担が少なく済むように総会の午前中を使って一日で済むように総会当日に合わせました。

しかし、新型コロナウイルスの流行で会場が使用不可になり、総会は中止。講習会は、中止・延期にしました。36名の申込をいただいていたので、その旨連絡するとともに、開催が決まったら連絡させていただくということでお詫びしました。

7月の理事会で10月開催を決めて、会場押さえ、講師の方と日程調整をして、9月に入り開催の連絡をして、約30名の方から参加する返信をいただきました。山登りを始めたい人は必ずいると確信しました。10月11日の「講習会」開催に至る経緯です。

山登りを始めたいが、「何から・・・」というところで立ち止まって先に進めないのではと。それなら山岳会の経験者の話が一番、身近に聞いてもらえるのではないかと思います。講師4人で持ち時間15分とテーマを決めリレートークをお願いしました。講師の方は、短すぎて大変だったと思いますが、さすが経験者の話でした。

参加者からの質問にもお答えして、終了後も個人的に質問される方もおられ、「山登りを始めたい人」はいる、地道に掘り起こして「労山会員」になってもらいたいと思いました。

山の会へ入らず、友達同士で気軽に山を楽しんでいる。比較的女性が多いように思いますが、山岳会に入るメリットを、私たちがアピールする必要があるようにも思います。

私は、山岳会に入り、「安全登山の基本」を身につけることが一番のメリットだと思います。

そこから、何に楽しさ、興味を見出すかは、本人次第だと思うのです。

仲間を見つける・趣味を見つけた・生き甲斐ができた・ストレス発散になる・ライフワークにする・・・

ネットで得る知識と、実際に山に登り、経験を積むことで習得する技術には、雲泥の差があります。

第2弾を来年3月7日の総会当日の午前中に開催予定をしています。内容についてすでにいろいろと案が出ています。手ごたえを感じることができた講習会でした。

### 「山登りを始めたい人の講習会」

テーマと講師 紹介	1. 山靴と歩き方	秋本邦和 (比良雪稜会)
	2. ザックの選び方とパッキング	友永芳和 (県連会長)
	3. 服装について 重ね着等	北村昌文 (湖南岳友会)
	4. ペース配分と休憩	金原敏幸 (滋賀山友会)

残念ながら 写真を撮るのを失念しました

報告・宮内眞子

## ぐうたら会長のつぶやき

先日、スポーツ会館で「山登りを始めたい人のための講習会」を開催しました。27人の参加がありました。情報や知識を得たいと思っている方が多数おられるということだと思います。何人の方が入会してくれるかは不明ですが、コロナの関係でアウトドアを目指す人も多くなっています。その中でハイキングを始める方も多数おられます。軽い気持ちで山に行き、遭難される方も見られます。そんな事故を減らす意味からも今後とも定期的に開催して、知識の啓蒙と同時に体験山行などを実施して、たくさんの方に入会していただければと思っています。講習会を開くには、皆さんの会から講師を派遣していただかなければなりません。ぜひともご協力をお願いしたいと思います。よろしく！

比良の沢、第 16.17 弾です

No471 88-9 与市谷(比良の沢) 1988年6月18日 薄曇りのち晴天

(コースタイム)

朽木役場前 8:35---8:55 与市谷出合---9:10 入溪 9:20---10:00 取水口---10:15 中の二俣---10:45 上の二俣  
---11:10 水切れ 11:20---11:30 登山道---11:35 蛇谷ヶ峰 12:00---12:50 ボボフダ峠---13:15 畑

(報告) 神納川へ行く予定だったが、空模様がもう一つだったので日帰りで与市谷に変更。朽木役場前で下車。雲のかかった蛇谷を見上げつつ車道を歩く。8時55分与市谷出合に着く。沢沿いの車道を奥に向かって進む。二つ目の堰堤で車道は終わった。堰堤を巻いて越すと三つ目の堰堤に出た。ここで入溪。すぐ二俣。藪の多い平凡な流れが続く。小滝を二つほど越すと、左に林道が延びていて10時取水口に出た。15分も行けば二俣、左に入るとようやく沢登りの気分となりそうな廊下となった。4m、2段6m、8mを過ぎて少し落ち着き、再び滝が出て来る。4m、5m、2段8mの滝で廊下は終り藪がうるさくなる。小滝を幾つか越えて7mほどのナメ滝を過ぎると二俣。右に入るとすぐに8mの滝。これは少し緊張して越えた。水量は減ったが面白い小滝が幾つも姿を見せ楽しめた。水が切れたので靴に履き替え、傾斜の強い滑り易い斜面を登って小尾根に出る。踏み跡を拾って10分ほど行くと登山道に出て5分で蛇谷の山頂に立った。登山者が一人いた。ガスの山頂から下り始めると薄日が差し始めた。縦走路をボボフダ峠からヨコタ峠まで歩いて畑に下った。

No472 88-10 知善寺谷(比良の沢) 1988年6月19日 晴

(コースタイム)

朽木役場前 8:35---8:50 知善寺谷出合---8:55 入溪 9:00---11:15 水切れ 11:25---11:40 蛇谷ヶ峰 12:00---  
12:35 ボボフダ峠---13:10 畑

(報告) 蛇谷の沢第4弾、昨日の与市谷に続き、今日は知善寺谷です。日曜日で釣り人が多い。釣り人を眺めながら船橋を渡り、入部谷越への車道を左に見送って少し行き、下柏の集落より小道を辿って知善寺谷に入る。すぐ植林された杉林となり送水溝に沿って歩く。二つ目の堰堤の先で谷に入る。蛇谷の沢にしては歩き易い感じだった。少し行くと左から10m程の滝が落ちていた。明るくなったので伐採跡かなと思ったら、大きな堰堤工事の現場だった。堰堤から先は水が溜れていて藪が深かった。10分ほど行くと左から細い流れが合流した。嫌になる位の藪、藪、藪を蜘蛛の巣だらけになって進む。二俣を右にとり更に藪は続く。流れもだんだん細くなり、藪潜りゲームにも飽きたので尾根に逃げようかと思った頃、ゴルジュ帯が現れた。小滝が3つほどあり、ここぞとばかりシャッターを押した。再びヤブ、傾斜が強くなり始めて第2のゴルジュとなる。ここは小滝の連続で楽しめた。抜けると源流帯、またまた藪漕ぎ。もう慣れてグイグイ登る。11時15分水が切れ靴に履き替える。10分ほどヤブを漕ぐと登山道に出る。今日の蛇谷は、昨日とは打って変わった晴天で、登山者の群が溢れていた。

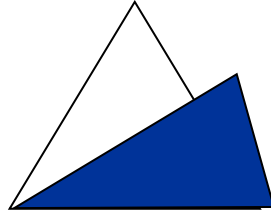
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
	1-3	ステップアップ登山講座2020 南ア・鶏冠山～光岳		30-3	日光白根山 武尊山 鳥海山	彷徨
				1	鬼ヶ牙～御所平	雪稜
				1	オールラウンド例会「東雨乞岳」	山友
				3	水質検査・放射線測定	雪稜
	4	代表者会議(明日都浜大津)		8	清掃登山(雪野山)・ミーティング	彷徨
11				8	佐和山	ちご
				8	万野山・高室山	雪稜
				15	ハイキング部例会「余呉・行市山」	山友
	14-15	ステップアップ登山講座2020 南ア・バラ谷の頭		21	湖東三山	ちご
				21-22	加賀大日山～越前大日山	彷徨
				22	坊村～葛川越	雪稜
				29	上谷山	雪稜
				28	比叡～比良トレイル	彷徨
				5	総会・忘年登山	ちご
				5	槇尾山(ダイトレ)	彷徨
	12-13	忘年登山(CSS 比良山)		12-13	忘年登山(比良山)	彷徨
12						
				19	京都トレイル(山幸橋)	ちご
				19	ダイトレ(岩湧山)	彷徨
	26-31	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)				
	1	雪山基礎講座2021 オリエンテーション		1	初日の出山行「権現山」	山友
				1	初日の出山行「権現山」	雪稜
				3	初詣山行「愛宕山」	山友
				3	新春登山(武奈ヶ岳)	彷徨
	13	理事会				
1						
	16-18	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)				
	20	雪山基礎講座(第1回) 福井嶺北・荒島岳		23	ダイトレ(槇尾山)	彷徨
	27	理事会				
	28-31	札幌国際深雪スキー(スキーネット)				

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2020年12月号の原稿は、11月15日×切です。

原稿の投稿先は 古川 [tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp](mailto:tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp) 及び

渡壁 [painter\\_watakabe@maia.eonet.ne.jp](mailto:painter_watakabe@maia.eonet.ne.jp) まで、

用紙サイズは **A4**、フォントは本文 **11~12**、タイトル **14~16**、

余白は上下左右 **19mm**とし、

使用する写真は **200KB 以内**としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース11月号」 No.520

発行日:2020年10月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行 (店名 418)

<http://shigarousan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子